見事優秀賞に輝いた遠藤さん

遠藤さんに優秀賞

日野川源流米コンテスト

日野郡産のおいしい米を審査する、第５回日野川源流米コンテストが、11月７日、山村開発センターで開かれました。

コンテストには、計１１８点のコシヒカリが出品され、たんぱく質が少なく、粒のそろった上位３点の米を実際に試食し、最終的に最優秀賞１点が決定されました。

結果、町内からは、遠藤喜久さん（榎市）が優秀賞に、安達豊さん（下菅）が奨励賞に決定しました。

住民基本台帳の閲覧状況について

平成18年11月1日改正になりました住民基本台帳法の規定に基づき、住民基本台帳の閲覧状況をお知らせします。

期間：平成18年11月1日～平成19年10月31日　件数：０件

おしらせ information

「リバーサイドひの」指定管理者を募集します

町交流センター「リバーサイドひの」の指定管理者（管理運営団体）を募集します。

▼対象施設　町交流センター「リバーサイドひの」

▼所在地　下榎１１８３番地

▼指定管理者が行う業務　施設の運営・維持管理に関すること

▼指定期間　指定した日から平成23年３月31日まで

▼募集対象団体　鳥取県内に事業所を有する法人または団体

▼応募方法　所定の申請書に必要書類を添え、平成19年12月14日（金）までに、役場産業振興課へ提出してください

※申請書類は、役場産業振興課にあります

▼審査　提出書類などにより審査します

▼応募先・問合せ　役場産業振興課（電話72－２１０１）

暮らしに役立つ情報満載 鳥取県民手帳２００８年版 発売中です

▼「鳥取県の年中行事」、「食のみやこ鳥取／特産物旬カレンダー」、「暮らしの便利資料」など機能充実

▼１冊５００円

▼色は、黒、ワインレッド、ダークブラウンの３色

▼役場総務企画課または役場黒坂支所で購入できます

■教育委員会からのお知らせ

第11回町教育委員会開催

11月８日、第11回の町教育委員会を開き、報告や次の議案について審議・承認されました。

▼議案　児童の通学区域外就学の承認について＝来年１月から３月まで、黒坂小学校久住季節間分校から黒坂小学校への就学等について許可しました。

▼報告　①日野町表彰について＝今年の町表彰に、教育関係から、日野中学校の谷口優佳子さんを内申（町のスポーツ振興に寄与）し、11月に表彰式を行うことになりました。②町歴史民俗資料館のあり方について＝国の有形文化財に登録されている資料館の建物（旧根雨公会堂）を、今後広く宣伝し、町の観光地などにパンフレットを配布することとします。

▼人権啓発講演会および第32回日野町人権・同和教育研究集会

日　時　12月4日（火）13:00～17：00
場　所　町文化センター
内　容　▼（人権啓発講演会）講演（13:20～）
　　▼（研究集会）シンポジウム（15:00～）
講演会　講師：藤井輝明氏（鳥取大学大学院教授）
　　演題：『笑う顔には福きたる』
問合せ　町人権センター　担当　川上（電話72-2107）

▼平成19年度日野町生涯学習まちづくり大会

日　時　12月9日（日）９:00～12:00
場　所　町文化センター
内　容　▼実践発表（９:15～）▼講演（10:30～）
講　演　講師：片岡直樹氏（川崎医科大学小児科教授）
　　演題：『テレビ・ビデオが子どもの心を壊している』
問合せ　町教育委員会事務局（電話72－2107）

お元気ですか 日野病院です

病院長のひとりごと
―看護師不足について④―

日野病院長　櫃田　豊

今回は看護師不足に対する日野病院の対応についてお話しいたします。一口に対応と言っても色々ですが、ここでは確保対策と定着対策の2つに分けて考えることにします。

①看護師の確保対策

まず、日本看護協会が実施した「2006年病院における看護職員需給状況調査」の中に挙げられた看護師確保対策と、それらが日野病院でどれくらい実施されているかを分析しました。

この結果、日野病院にはまだまだ努力する余地が残されているようです。求人や募集については充分に行われているようですが、今後はいかに継続するかが問題となります。

また、説明会への積極的な参加、看護学校への早期訪問、実習プログラムの改善などにも取り組む必要があります。

自治体病院としては実施困難なものもありますが、採用基準の見直しなど出来るものは早急に行いたいと思います。

給与に関しては、自治体病院の看護師、特に准看護師の水準は民間病院と比較して明らかに高くなっています。このことは、人件費率を押し上げる原因として以前から問題にされてきましたが、看護師確保の面では逆に強調されるべき利点です。

②看護師の定着対策

同じく「2006年病院における看護職員需給状況調査」の中に挙げられた看護師定着対策と、それらが日野病院でどれくらい実施されているかを分析しました。

まず、新人の定着対策については、研修・教育体制の強化、医療安全対策や労働安全対策の充実など努力している状況がうかがわれます。

一方、中途採用者の場合、給与面での優遇対策はなされているものの、研修・教育体制はまだまだ不十分であり、今後その確立に取り組む必要があります。

その他、日野病院独自の定着対策としては、セクハラ・パワハラ相談窓口を院内に設置していますし、出産・養育に際しての夜間勤務免除制度もあります。さらには、准看護師から看護師へのステップアップを希望する職員には奨学金制度もあります。

ここにきて都市部、郡部を問わず看護師不足はますます深刻になり、今や看護師の数が医療機関の大きさや診療内容を決定すると言っても過言ではなくなりました。日野病院が看護師の確保にさらに努力しなければならないのは当然ですが、看護師養成数や診療報酬における看護配置などに関して医療政策レベルでの見直しが必要な時期に来ていると思います。（看護師不足については今回で終了です）

日野病院にゅ　す

開院７周年 皆さんに感謝の気持ちを

11月1日、現在の日野病院開院の日を記念して、記念イベントを行いました。

当日は、まず櫃田院長が「7回目の記念日を迎えることができたのも、病院を利用いただいている皆さんや関係者のおかげです。この日を機に、病院の歴史を振り返り、また将来について考えていただければ」と館内放送であいさつしました。

イベントでは、ロビー2階で抹茶サービスが行われたほか、ロビー1階では管理栄養士による栄養相談などが行われました。また、入院患者や外来患者らへ記念品がプレゼントされました。

景山享弘管理者（左）もお点前を披露

相談者の栄養状態をパソコンで診断

園児たちがチューリップ植付け

300個の球根を植えました

病院と町が今年度から行っている「すこやか長寿推進事業」のひとつとして、11月8日、ひのっこ保育所の年長児16人が病院を訪れ、玄関前の花壇にチューリップの球根の植付けを行いました。春には色とりどりの花が咲きます。お楽しみに。